

〔科目名〕 教職概論	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 教職課程(必修科目)
〔担当者〕 渡部 靖之	〔オフィス・アワー〕 時間: 初回の講義で連絡する 場所: 同上	〔授業の方法〕 講義及び演習
〔科目の概要〕 前半では、「教育」、「学習」とは何かという基本的概念を踏まえ、「学校」の役割と機能について、法制上の規定と現代の学校の現状を照らし合わせながら理解する。その上で、「教員」の社会的存在意義や求められる資質能力について、討論も含めて考える。また、教育養成制度についても理解する。 後半では、キャリア教育、人権教育・学習、環境教育、情報リテラシー教育、国際理解教育など様々な現代的な課題に係る教育について、テーマごとに考え方、指導方法について解き明かしていく。 全編を通して、クリティカル・シンキングの考え方に基づき、主体的に考えお互いに意見を交わすことにより、教員あるいは社会人として必要な能力を身に付けることを目指す。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 社会の大きな転換点を迎えている現代において、生涯を通した教育・学習の必要性がますます高まっていると言える。その中で、「学校」の存在意義、そしてそこで教育に携わる「教員」という職業の持つ特性、意義、専門性等について学ぶことは、教員を目指す者にとって避けては通れないものである。 本講義では、他の教職科目の内容とも整合性を取りつつ、広く他面的な視点から学校や教職について理解することにより、教育の専門家にふさわしい職業能力の育成を目指すものである。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 1 教育・学習の持つ本来の意味を理解している。 2 学校の社会的存在意義と人間の生涯における位置づけについて理解している。 3 教職の特性、専門性に関する法的規定を理解している。 4 現在の学校における諸問題や今後取り組むべき課題を知り、その解決・達成に向けた具体的方策と手段を理解している。 5 教員としての資質・能力を身に付けている。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 —		
〔教科書〕 使用しない		
〔指定図書〕 使用しない		
〔参考書〕 講義の中で適宜紹介する		
〔前提科目〕 なし		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 毎時、独自に作成する講義テキスト(簡易なレポート含む)を提出すること。 評価は、講義テキストの提出状況、記載内容及び試験(レポート)の結果を踏まえて行う。 欠席が全講義回数の1/3を超える場合は単位認定の対象外とする。		
〔評価の基準及びスケール〕 A: 80 点以上 B: 70～79 点 C: 60～69 点 D: 50～59 点 E: 50 点未満		
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 講義は講義テキストに沿って進め、パワーポイントで適宜資料等を提示する。講義をしっかりと聞き、講義テキストをきちんと提出することが基本である。		
〔実務経歴〕 該当なし		

授業スケジュール	
第1回	<p>テーマ:学校とは何か(教職概論を論ずる前提/学校の意義と役割について)</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会における学校の意味 ・人間の生涯における学校の意味(生涯学習社会と学校)
第2回	<p>テーマ:教員の役割と期待される教師像</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員とは何か ・現代の教員の実態 ・期待される教師像とは
第3回	<p>テーマ:法制上の教員</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育関係法における教員の定義、位置づけ、身分、服務規程、勤務条件と職員団体等 ・教育委員会制度
第4回	<p>テーマ:教員養成制度</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員養成制度の仕組みと課題
第5回	<p>テーマ:学校制度と教員</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校経営と組織・管理、学級経営、校務分掌
第6回	<p>テーマ:学習指導</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領 ・授業における学習指導
第7回	<p>テーマ:特別活動</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の意義と内容
第8回	<p>テーマ:生徒指導</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の位置づけと原理
第9回	<p>テーマ:不登校への対応</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校をどうとらえるか ・定時制・通信制高校の現状
第10回	<p>テーマ:進路指導とキャリア教育</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導、キャリア教育の位置づけと原理
第11回	<p>テーマ:学校・家庭・地域の連携・協働</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力の持つ意味 ・学校・家庭・地域の連携・協働の仕組み
第12回	<p>テーマ:学校における人権教育・学習</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育・学習の意義 ・指導方法
第13回	<p>テーマ:学校におけるボランティア活動</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会奉仕体験活動とボランティア活動 ・指導方法
第14回	<p>テーマ:学校における情報リテラシー教育</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報リテラシー(メディアリテラシー)教育の意義 ・指導方法

第15回	テーマ:クリティカル・シンキングと参加型学習 内容: ・学校におけるクリティカル・シンキング ・学校における参加型学習
試験	レポート